

非通知審査のガイダンス

日付 : 2017年12月5日
バージョン : 1.0
No. : 20629690

序文

関連するスキームの要求事項に従い（パートⅢ 3.2.2 項および パートⅣ 7.3 項）、非通知審査プログラムは FSSC 22000 の 3 年認証サイクルの一部である。非通知審査プログラムに FSSC 22000 認証対象組織の参加が義務付けられている。

少なくとも 1 つの非通知審査は、各 FSSC 22000 の 3 年認証サイクル中に実施される。

目標

- ・ 認証対象組織は、非通知審査であってもいつでも FSSC 22000 審査の準備ができていることを確立すること。
- ・ 現場は、すべての FSSC 22000 スキーム要求事項を満たしていることを証明すること。
- ・ 非通知審査の管理方法についてのガイダンスを提供すること。

計画

（再）認証の決定後、組織は 2 つの計画されたサーベイランス審査のいずれかが、非通知審査に置き換えられることを CB から知らされる。CB からの連絡より 2 週間以内に、組織はブラックアウトデイ（＝審査不可能日）を CB に伝える。

ブラックアウトデイとは、審査対象組織が正当な業務上の理由で操業していない期間である。CB と認証対象組織の間に、認証対象組織が完全に参加できない／あるいは製品がないというような極端に不都合な期間を避ける合意がなされるべきである。CB は、指定されたブラックアウトデイが正当であった証拠を FSSC 22000 認証対象組織に提供することを求める。

監査対象組織によって要求されるブラックアウトデイに最小または最大はなく、ブラックアウトデイには、認証範囲によってカバーされる季節的な製品と可能な第二現場の両方を含めることができる。

非通知審査は、以下の事項から 4～12 ヶ月後の期間内に実施されることが求められる:

- ・ （再）認証の決定および/または
- ・ 前回通知されたサーベイランス審査の最終日。

実行

CB は、非通知審査を実施するための審査員を養成することが求められる。

また、主任審査員は以前に組織を審査し、FSSC 22000 認定 FSMS に精通している審査員であることが推奨される。

(主任) 審査員は、非通知審査を実施する審査員として本人を特定すべきである。組織は審査員が非通知審査を実施する前に、審査員の身元を確認するために CB に連絡することができる。

主任審査員は、緊急時（火災、重大な壊滅的事象、別の審査など）の場合には、裁量を運用することが期待される。このような場合、主任審査員は CB 認証マネージャーに相談した後に非通知審査を取り消すことを決定し、非通知審査のための新しい日を設定することができる。

非通知審査の結果

以下の機能が審査中に存在しない場合、その後の、オフサイトで実施することもできる、フォローアップ審査中に審査することが求められる。

- ・ トップマネジメント;
- ・ 人的資源;
- ・ 外注のサポートサービス
- ・ 調達;
- ・ 研究開発

しかしながら、上記及び他の機能については、非通知審査中に審査チームが、代理の責任者をインタビューして、審査チームが適合の証拠を集めることが望ましい。なぜならば、食品安全マネジメントは全員の責任であるからである。

定常的に稼働していない生産ラインは、通知有のフォローアップ審査で審査する。しかしながら、フォローアップ審査を回避して審査を実施するために、組織がこれらの生産ラインを稼働開始できることが望まれる。

免除

非通知審査は、ほとんどの場合 “驚きの審査” である。しかし、認証対象組織の協力を得ずに非通知審査を組織することは必ずしも可能ではない。例を次に示す。

- ・ 査証のような旅行許可を得るための国の特定の手続き;
- ・ 審査員がガイドなしでは現場に移動できない国の特定の安全条件。

後の参照のため、その事例の正当化に関する記録は、認証対象組織のファイルとして CB によって保持される。このような状況の結果として、この審査を非通知審査には分類できない。

FSSC 22000 バージョン 3 からバージョン 4 へのアップグレード

FSSC 22000 version 4 のアップグレード審査を非通知でおこなってはならない。これは FSSC 22000 非通知審査プログラムの実行にいくつかの結果をもたらす。

次の表は、計画された FSSC 22000 バージョン 4 のアップグレード審査後に最初の非通知審査を実施できる時期を示している。

バージョン 3 認証発行年	バージョン 4 アップグレード審査実施年	最初に非通知審査を実施できる年
2015 年	2017 年または 2018 年	2019 年
2016 年	2017 年または 2018 年	2020 年
2017 年	2018 年	2019 年